

現在の活動状況

米里地区公民館は、生涯学習と地域づくりの拠点として活動しています。

生涯学習事業の取組活動として、4つの委託事業 ①特色ある公民館活動事業 ②人権啓発推進事業③子どもと大人のふれあい事業 ④ 地域の仲間づくり事業 を実施し、地域住民の生涯学習を支援する取り組みを行っています。

公民館教室として、現在「子ども英会話」「書道」「子ども書道」「かな書道」「詩吟」「ピノポン」「陶芸」「ヨーガ」の8教室が、公民館を利用して活動されています。

昭和54年より始まった「親睦旅行」は、現在も続く地区事業として継続実施し、多くの方に喜んでいただいています。

「米里まつり」は、当初の文化祭を母体に、平成14年から自治会実行委員会を組織し、地区的事業として毎年開催し、多くの住民の参加協力をいただいています。

地域づくりの活動としては、地域コミュニティによる協働のまちづくりを推進するため平成20年度に設立された「よねさとづくり協議会」の事務局を担っています。

米里地区の概要について

米里地区は、空山（そらやま）の麓より大路山の周辺に位置する旧米里村の8集落（約250戸）と、昭和50年代より団地造成が始まった雲山地区の3町内会（約800戸）とから成り、総人口は3,500人を超えています。

旧村の農村地帯では、古くから米や野菜などが栽培され、空山山麓の村々では主に梨が栽培されています。地域の歴史は古く、地区内に多数の古墳群や因幡往来の名残りが点在し、貴重な伝統芸能も数多く残っており、現在も大切に守り続けられています。

米里地区公民館の沿革

昭和22年の教育基本法施行後、昭和32年4月に「鳥取市立米里公民館」として設立されました。

昭和35年鳥取市公民館条例に公民館の設置が定められ、「米里地区公民館」として新しくスタート。と、同時に公民館運営の米里児童館が開設ひされました。

昭和45年5月 大路川改修に伴い、公民館及び児童館を小学校跡地に新設移転

昭和53年3月 現在の公民館・児童館新築

平成4年4月 児童館閉館。建物全体を米里地区公民館として使用しています。